



## 校長室より



令和7年 2月 6日

No.32

自分らしく生きる 豊かに生きる

今シーズン最強の寒波が到来というアナウンスに、いつもうろたえてしまうのは私だけでしょうか。南国和歌山では、大雪になると大パニックになります。数年に一度ですが、交通網がストップしてしまい、身動きがとれないなど、痛い目に遭った経験をしている人も多いですね。早く春が来てほしいものです。

2月3日(月)、今年度最後の学校運営協議会を行いました。最初に生徒、保護者、教職員、学校運営協議員それぞれの学校評価の報告を行いました。次に、二グループに分かれて、本会議のことをもっと広く知ってもらうための作戦を話し合いました。その中で、親しみやすい協議会の名称考案、ロゴの作成、チラシの配付、配信システムを活用した広報、生徒にもわかりやすく伝える活動報告掲示など新しいアイデアをいただきました。さらに、来年度できることとして、人をつなぐお手伝いや相談にのってもらえる人を紹介できることから、進路研修会に登壇したり、生徒と一緒にイベントを行ったり、みはまサポーターの呼びかけができるなどの提案もいただきました。ますますみはまの学校運営協議会から目を離せませんね。



さて、卒業式まであと一ヶ月を切り、今年度のしめくくり、まとめの時期となりました。この時期、仲間とともに楽しい時間を過ごすお別れ校外学習は、三学期の中でも貴重な取組です。一学部入院生高等部3年生のメンバーは、2月4日(火)に福祉タクシーを使ってオークワロマンシティ御坊店に出かけました。寒波の中、空気は冷たいけど、お天気も良く体調も良く、みんなそろって出かけることができました。店内では、思い出として卒業後も使えるようなものを探して買い物をしたり、担任の先生とプリクラを撮ったり、味覚を楽しめるものを探したりしました。病棟に帰らないといけない時間を逆算し、許されるぎりぎりまで外出時間を楽しみました。コロナ禍で制限された分を取り戻すことはできなかったけれど、卒業までに仲間と出かけられたことに感謝です。

